

**Jwima 通信**  
Japan Writing Instruments  
Manufacturers Association

日本筆記具工業会

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里2-30-6

TEL03-3891-6161 FAX03-3892-9692

発行：日本筆記具工業会 調査研究広報委員会

URL <http://www.jwima.org>

## 平成30年度 第17回通常総会開催！

本工業会は5月25日、上野精養軒にて「第17回通常総会」を開催しました。今回は役員改選期ではありませんでしたが、期中に退任された川頭正和理事と野口丈夫監事の補選が行われ、後任に印田孝雄氏（パイロットインキ㈱）が理事として、また山家裕司氏（オリエンタル産業㈱）が監事として選任されました。



### 【石川真一会長 挨拶】

会長に昨年就任して1年間無事終えることができましたのも、皆様のご協力のおかげで誠にありがとうございます。ここ1年の筆記具業界は、輸出を中心に安定しており、各社とも安泰であったと思います。ただ、世界的に見れば欧米などでは流通における大きな変革が起こっており、中国もかなり力をつけてきました。国内でもメーカー・卸・小売りとも新しい時代の波が来ており、ここにきて業界のヒット商品が頭打ちになっていることを考えると、これからの1年は厳しくなっていくように思います。このような逆風にめげず、今後もこの調子で販路を拡大して、日本の底力を見せ、筆記具業界をますます成長させて輝かしい時代を作っていきましょう。

なお、3年後には筆記具工業会も創立20周年を迎えます。今後業界の世代交代も進んでいくでしょうから、ここで何か節目となるような式典を行って盛り上げてお祝いをしたいと思っております。その立案を総務委員会にお願いしてありますので、皆さんそれに向かって頑張ってください。



## 【和田優副会長 閉会挨拶】

本日の第17回通常総会、皆様のご協力により滞りなく議案審議を終えることができました、誠にありがとうございます。先ほどの統計データの報告で、2017年の筆記具類の輸出金額が前年比5.9%も増加したという話がありましたが、これだけ増加してくると諸外国の規制も厳しくなってきているので、それらに対応していくのは非常に大変であります。特にISOへの働きかけなどは工業会でないとなかなかできない活動で、他にも各国の環境安全規制や海外の関連情報など頻繁に情報共有が行われています。こういうところにJWIMAとしての価値があると思いますので、今後とも継続・発展できますよう皆様にご支援ご協力をお願いいたします。



◀通常総会終了後の懇親会風景

ISOT 2018

## 知的財産権セミナー 報告

2018. 7. 5 東京ビッグサイト 会議棟 703 会議室

本工業会ならびに(一社)全日本文具協会は、ISOT2018 会期中の7月5日(木)14時から東京ビッグサイト会議棟 703 会議室にて、90名参加のもと知的財産権特別セミナーを開催しました。



今回のセミナーは3部構成で、第1部は、創英国際特許法律事務所 副所長の黒川朋也氏が「日本におけるパロディ商標の考え方」について講演。

第2部では、中国専利代理(香港)有限公司 商標部長の尹龍植氏が「中国におけるパロディ商標の考え方」について紹介が行われ、第3部では、経済産業省 模倣品対策室 模倣対策専門官・弁護士の久勇介氏による「わが国の模倣品対策」のについての講演が行われました。

## 筆記具関係 JIS の改正について(現状報告)

JIS（日本工業規格）については、工業標準化法で5年毎に見直しを行い、確認、改正、廃止をしなければならないことになっています。規格の内容が社会的要求（法規制、技術水準、消費者ニーズ）等の変化で現状にそぐはなくなってきたら、適切に改正しなければなりません。

また、ISO規格（国際規格）とも整合させることがWTO/TBT協定で定められており、各国の国家規格もすべてISO規格に整合させることになっています。日本からISO提案するのもそのため、日本製品がイコール世界標準となるのを狙っているのです。

ここ数年、日本から「一般用シャープペンシル及びその芯」の規格をISOに提案する活動を行ってきました。今は終盤に差し掛かっており、2019年2月までには発行となる予定です。日本のJIS S 6013（シャープペンシル）とJIS S 6005（シャープペンシル用しん）がベースとなっているのですが、途中フランスとの意見調整によりフランスの要望も取り入れたため、従来のJISにプラスされた部分が出てきました。以下がその内容で、今度その内容をJISに反映させるべく関連JISの改正を進めていくことになりました。

### 【ISO 20318／一般用シャープペンシル及びその芯 での追加内容】

#### ●ISO 20318-1（一般用シャープペンシル）

- ・芯径の種類 ... 芯径0.2, 0.4, 1.3, 1.4mmを追加、公差も決定
- ・口金の口径 ... 各芯径ごとの公差を決定、プラスチック製については別途公差を設定
- ・耐衝撃性試験 ... 従来の杉板試験（1m）に加え、コンクリートボードでの試験（70cm）を追加  
いずれかを選べるようにした
- ・耐久性試験 ... ノック回数：金属チャック 10,000 回、プラスチックチャック 5,000 回、  
ノック頻度は1分間に50回以上

#### ●ISO 20318-2（シャープペンシル用芯）

- ・硬度（濃度） ... 画線機のタイプと芯径により規定  
レコード式／芯径 0.2～0.3mm：濃度 0.15～0.30、芯径 0.4～2mm：濃度 0.25～0.45  
螺旋式／芯径 0.2～0.5mm：濃度 0.25～0.45、芯径 0.7～2mm：濃度 0.30～0.50
- ・筆記濃度試験時環境条件 ... レコード式「23℃±5℃」、「(65±5)RH%」  
螺旋式「23℃±2℃」、「(50±5)RH%」
- ・試験条件 ... 試験機のタイプが異なるためそれぞれ合った試験条件を設定  
（筆記荷重、筆記速度、画線ピッチ、画線距離、芯の保持角度、芯の先端形状、  
芯の動き（自転）、濃度測定器のスポット径）
- ・筆記用紙 ... 現行のJIS紙、ISO油性BP用および水性BP用試験紙いずれも使用可とした

現在、上記内容をJISに整合させるため関係するJISの改正作業を進めています。

#### ●JIS S 6005（シャープペンシル用芯）… 2017年度区分A（4月スタート）

2018年12月 消費生活技術専門委員会（JISC）審議通過 → H31年2月公示（発行）予定

#### ●JIS S 6006（鉛筆、色鉛筆及びそれらに用いる芯）… 2018年度区分B（8月スタート）

2019年2月 第2回原案作成委員会開催予定 → 2020年上旬公示予定

#### ●JIS S 6013（シャープペンシル）… 2018年区分C（12月スタート）

2019年3月 第1回原案作成委員会開催予定 → 2020年中旬公示予定

## 生産動態統計の適正化 活動報告

昨年度から今年度にかけて調査研究・広報委員会では「生産動態統計の調査適正化」というテーマで活動を行いました。以下、その内容についてご報告いたします。

文具の生産動態統計については、①鉛筆②シャープペンシル③油性ボールペン④水性ボールペン⑤マーキングペン⑥クレヨン・パス・水彩絵具⑦修正液⑧修正テープという8つの品目について、20名以上の規模の事業所を対象に毎月調査が行われ、その結果が経済産業省から発表されています。しかしながら調査票への記入要領が難解なため、対象事業所でも解釈にばらつきがあり、統一した報告がなされていないのではないかと懸念がありました。

そこで本委員会では、統計調査のルールと現状を確認し、なるべく正確な統計データが得られるよう調査の適正化を図ることを目的に、まず会員アンケートを実施しました。

- ・回答は30社で、完成品メーカー（26社）からはすべて提出いただきました。
- ・この中で生産動態統計の報告企業になっているところは14社で、12社は現在調査対象にはなっていないことがわかりました（一部20名以上の規模であるが調査対象になっていない事業所があった）。
- ・海外（自社）で対象品目を生産しているところは8社あり、一部重複しますが海外（他社）から調査品目を購入しているところは10社あり、業界としての海外依存度はかなり高いことがわかりました。

このようなアンケート結果から、生産動態統計調査（文具月報）の記入要領について精査し、現状の不明瞭な点についてのピックアップとその解釈について経済産業省生活製品課へ相談し、動態統計室とのミーティングにて解釈のズレを尋ねることとなりました。

結果は以下の通りですが、不明な点については事務局へお問い合わせください。

記入要領での指摘内容	動態統計室からの回答
・20名以上の事業所で、調査対象になっていないところはいくつかある	・定期的に工業統計でチェックして見直している。数年前もマーキングペンで1社追加した。 ・業界団体からの情報も参考にしたい。何か月か様子を見てから取り上げることになる。
・調査品目の大量生産委託者は、経済産業大臣指定の「一括事業所」として調査対象とすることはできないのか？	・一括事業所に指定されるのはあくまで調査品目を生産している事業所のみ。自ら作っていないところは対象外である。
・生産の範囲が明確でない。どの状態までできたものを完成品とするのか。	・包装前の製品組立完了（一般的に使用できる状態になったものが完成品）まで行ったものを「生産」とする。 その構成品（部材）製造、包装仕上工程だけの場合は「生産」とは見なさない。
・数量記入の定義が明確でない。セットもの場合は？	・セットもののカウントについて ex.) 12色セットは、単品換算し12コとする。 3色ボールペンは、1本と数える。
・自社工場で生産していない調査品目を受け入れた場合は、「受入」としてカウントしないのか？	・あくまで同一品目を生産しているというのが前提で、自社工場で作っていないものはカウントしない。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先に生産させたとき、相手が20人未満の場合は、報告事業者ではないため「生産」にカウントされないがそれでよいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それによ、その場合は「受入」となる。</li> <li>・ただし、カウントするのは<u>同一品目を作っているというのが前提</u>で、他に委託して生産させた製品は、相手の規模に関係なく「受入」とする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売することを目的として、本社、営業所などに出荷したものは「販売」にあげる、というのをおかしいのでは？単なる「在庫移動」では？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社工場倉庫から販売目的で出荷されるものは「販売」にカウントすることとしている。</li> </ul>

<経済産業省からのコメント>

- ・生産動態統計の対象品目は109品目あり、記入要領はみな同様の書き方になっているため、分かりにくかったり、該当しないものがあったり不便をかけている。
- ・2020年にまた記入要領の改訂があるので、不明確な部分には注釈を加えるなど改善したい。

以上

## お知らせ

### ■2018 JWIMA 会員研修会

本工業会では、会員の皆様に役立つ情報を共有化することと、会員同士の交流を図ることを目的として毎年「会員研修会」を開催しています。講座も会員のニーズに合わせて各分野のスペシャリストに講師をお願いしており、今回は以下の内容で実施いたします。どうぞ奮ってご参加ください。

日 時：平成30年11月1日（木）13:30～16:50

場 所：ベルモントホテル（東京都台東区柳橋） 2F 「菊華」

講座内容：

時 間 帯	講 座 名	講 師
13:30～15:00	IoTとAIを活用した中小企業の経営戦略	中小企業診断士 ㈱スプラム 代表取締役社長 竹内幸次 氏
15:20～16:50	破壊的イノベーターになる方法 ～実践編	関西学院大学 専門職大学院経営戦略研究科 教授 玉田俊平太 氏
17:00～18:30	交流懇親会	-----

### ■優良工場見学会

恒例となりました優良工場見学会、本年は、「JAXA 筑波宇宙センター」と「麒麟ビール取手工場」の見学会を企画いたしました。この機会に是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

日 時 平成30年11月16日（金）午前8時00分出発～午後5時30分 日暮里駅解散予定

見学先

#### ①JAXA 筑波宇宙センター

何ヶ月も宇宙で滞在する国際宇宙ステーション「きぼう」の実物大モデルがありますので、ぜひ中に入ってみましょう。それ以外にも月周回衛星「かぐや」の試験モデルや「はやぶさ」のモデルもあります。説明付きツアーに参加しますので日頃の疑問をどしどし質問しちゃいましょう。

#### ② 麒麟ビール取手工場

日本にある麒麟 9 工場の中で製造量が最大の主力工場。350ml 缶を120万本作れるタンクがなんと130個もあります（壮観な眺め）。1日に350ml 缶で638万本も生産しています（24時間3交代）。「麒麟一番搾り 美味しさの秘密発見ツアー」に参加しますので、ビールの奥深さがさらにいっそうわかることでしょう。

参加費 10,000 円（往復の交通費・昼食代・参加記念品代を含む）  
定員 20 名（先着順） 申込み締め切り 11 月 5 日（月）まで

### ■年末講演会・懇親会

JWIMA 恒例の年末講演会、今回は「ロボット義足」や「競技用義足」の開発で話題になっている遠藤 謙氏を講師にお招きし、次のようなテーマでお話しいただきます。皆さんお誘い合わせでお越し下さい。

日時 平成 30 年 12 月 3 日（月）17:00～、懇親会 18:20～  
場所 上野精養軒  
テーマ 「世界で最も速く走れる義足～ロボット義足の実用化を目指す～」  
講師 遠藤 謙 氏（ロボット義足エンジニア）

#### 【主な経歴】

1978 年 静岡県沼津市生まれ 慶應義塾大学工学部機械工学科卒業  
マサチューセッツ工科大学博士課程にて博士号を取得  
その後、ソニーコンピュータサイエンス研究所の研究者を経て

2014 年 株式会社 Xiborg（サイボーグ）を設立  
以後、ロボット義足やパラリンピック出場者用義足の開発に取り組んでいる。

そして当面、2020 年東京オリンピック・パラリンピックでのメダル獲得を目指している。

懇親会参加費 10,000 円 申込み締め切り 11 月 20 日（月）まで



### ■JWIMA 会員親睦ゴルフコンペ

好評につき、本年も会員親睦のゴルフコンペを開催致します。今回も石川真一会長にお骨折りいただき、東京ゴルフ倶楽部を取っていただきました。日本屈指の名門コースでもありますので、奮ってのご参加をお願い致します。

開催日 平成 30 年 12 月 6 日（木） 集合 7:50 / 8:30 OUT スタート（4 組）  
ゴルフ場 東京ゴルフ倶楽部（埼玉県狭山市柏原 1984） <http://www.tokyogolfclub.jp/>  
参加費用 プレー費各自精算（約 30,000 円）  
会費 5,000 円（パーティー費、賞品代含む） 申込み締め切り 11 月 15 日（木）まで

### ■事務局交代・引継ぎについて

2005 年 10 月より JWIMA の事務局を務めさせていただきました春田ですが、この度定年を迎え、次の総会で後任の吉田栄と交代いたします。これまで無事務めて来れましたのも、各種会議で JWIMA 事業運営にご協力いただきました皆様のおかげです。この場をお借りして深く御礼申し上げます。今後は小職同様吉田栄をよろしくお願いいたします。

#### 【吉田栄プロフィール】

吉田栄（よしだ さかえ） 生年月日：1957年6月17日  
出身地：埼玉県上尾市 現住所：神奈川県川崎市

#### <略歴>

1982年 慶應義塾大学卒業後三菱鉛筆株式会社に入社  
システム関係、人事関係、営業（量販）、商品開発を経て  
2009年より群馬工場に管理課長として赴任（9年間単身赴任）。

2018年4月よりこちらに勤務。

趣味：ゴルフ、カラオケ、川柳



吉田栄

春田恭秀

※若輩者ですが、今後ともご指導よろしくお願いいたします。（吉田）

## 平成30年度 4月～9月委員会・部会活動報告

### <総務関係>

- 4.11 総務委員会（平成30年度第1回）
- ・H29年度事業報告書ならびに収支決算書について
  - ・H30年度事業計画及び収支予算について
  - ・剰余金の使途について
  - ・H30年度第1回理事会開催について
  - ・第17回通常総会について
- 6.14 総務委員会（平成30年度第2回）
- ・H30年度第1回理事会報告ならびに再検討事項について
  - ・秋～年末の行事計画について
- 8.30 総務委員会（平成30年度第3回）
- ・秋～年末の行事計画について
  - ・20周年記念事業について
- 10.5 総務委員会
- ・H30年度上期活動状況報告について
  - ・H30年度上期収支報告について
  - ・H30年度第2回理事会運営について
  - ・創立20周年記念事業の準備スケジュールについて
  - ・秋～年末の行事計画について（進捗報告）

### <調査研究・広報関係>

- 5.14 調査研究・広報委員会（平成30年度第1回）
- ・生産動態統計に関する調査適正化について
- 7.18 調査研究・広報委員会（平成30年度第2回）
- ・生産動態統計に関する調査適正化について
- 7.18 調査研究・広報委員会（平成30年度第3回）
- ・生産動態統計に関する調査適正化について
  - ・その他（設立20周年記念事業について）

### <流通関係>

- 5.18 お客様相談窓口連絡会（平成30年度第1回）
- ・各社のお客様対応事例について
  - ・ユーザーマニュアル（マーケティングペン編）について
- 7.20 お客様相談窓口連絡会（平成30年度第2回）
- ・各社のお客様対応事例について
  - ・ユーザーマニュアル（マーケティングペン編）について

### <技術国際関係>

- 4.13 鉛筆部会（平成30年度第1回）
- ・JIS S 6006（鉛筆、色鉛筆及びそれらに用いるしん）の改正について
- 5.21 製品安全小委員会（平成30年度第1回）
- ・安全関連情報について（EWIMA、J-net 21他）
  - ・筆記具の安全基準について
  - ・その他（情報交換）
- 6.8 鉛筆部会（平成30年度第2回）
- ・JIS S 6006の改正について

### ・その他

- 6.15 マーキングペン部会（平成30年度第1回）
- ・ISO/TC10/WG18 オランダ会議報告
  - ・マーキングペン関連海外規格調査について
- 6.22 シャープペンシル部会（平成30年度第1回）
- ・ISO 20318-1,-2（一般用シャープペンシル及びその芯）の進捗について
  - ・上記ISO規格制定に伴うJISの改正について
  - ・JIS S 6005（シャープペンシル用芯）規格調整結果報告
  - ・その他（部会長の選任）
- 6.22 ボールペン部会（平成30年度第1回）
- ・ISO/TC10/WG18 オランダ会議の報告
  - ・ボールペン類（油性、水性、ゲル）JISの改正について
- 7.30 鉛筆部会（平成30年度第3回）
- ・JIS S 6006の改正について
- 8.6 シャープペンシル部会（平成30年度第2回）
- ・ISO 20318-1,-2の進捗について
  - ・JIS S 6005の最終版について
  - ・JIS S 6013（シャープペンシル）の改正について
- 8.20 製品安全小委員会（平成30年度第2回）
- ・安全関連情報について（EWIMA、J-net 21他）
  - ・筆記具の安全基準について
  - ・その他（情報交換）
- 9.13 マーキングペン部会（平成30年度第2回）
- ・JIS S 6037（マーキングペン）の5年見直しについて
  - ・公文書用マーキングペンISO規格化について
- 9.21 ボールペン部会（平成30年度第2回）
- ・ボールペン類（油性、水性、ゲル）JISの改正について
  - ・BP海外規格についての情報共有

### <JIS改正関係>

- 8.31 JIS S 6006（鉛筆、色鉛筆及びそれらに用いるしん）改正原案作成分科会（第1回）
- 9.20 JIS S 6013（シャープペンシル）改正についてのヒアリング

### <全文協との共催関係>

- 7.4 合同知的財産部会

以上

## 2017年の出荷・輸入・輸出 =年間=

繊維・生活用品統計（旧雑貨統計）より（国内向け販売と輸出向け販売を含む）

金額：百万円

出荷	単位	2017年間		2016年間		前年変動率(%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	392,349	25,280	404,451	25,457	-3.0	-0.7
ボールペン(水性)	千本	1,313,565	57,246	1,228,340	54,100	6.9	5.8
マーキングペン	千本	953,881	43,869	938,520	43,072	1.6	1.9
シャープペンシル	千本	156,669	19,535	159,824	19,062	-2.0	2.5
鉛筆	G	1,830,556	6,467	1,954,222	7,048	-6.3	-8.2
シャープ芯	千本	3,202,315	5,009	2,870,333	4,715	11.6	6.2
修正液	千個	18,291	1,580	18,406	1,549	-0.6	2.0
修正テープ	千個	46,430	4,185	48,634	4,291	-4.5	-2.5
クレヨン・パス・水彩絵の具	千本	126,812	4,761	128,189	4,739	-1.1	0.5
計			167,932		164,033		2.4

日本貿易統計より(抜粋)

輸出	単位	2017年間		2016年間		前年変動率(%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	177,176	7,372	174,846	7,361	1.3	0.1
ボールペン(水性)	千本	844,607	42,761	808,092	39,970	4.5	7.0
マーキングペン	千本	452,801	19,883	430,340	18,607	5.2	6.9
シャープペンシル	千本	94,954	6,923	93,099	6,360	2.0	8.9
万年筆・製図用ペン	千本	15,133	3,202	18,805	2,677	-19.5	19.6
以上のセット品	千個	1,425	192	858	139	59.2	38.4
黒芯鉛筆	Kg	112,708	384	122,589	403	-8.1	-4.6
色芯鉛筆	Kg	62,277	244	103,431	266	-39.8	-8.0
修正液	千個	13,783	1,100	13,324	979	3.4	12.4
修正テープ	千個	0	0	0	0	—	—
計			82,061		76,762		6.9

日本貿易統計より(抜粋)

輸入	単位	2017年間		2016年間		前年変動率(%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン	千本	312,490	7,798	191,769	7,290	10.8	7.0
マーキングペン	千本	199,601	4,070	207,469	4,070	-3.8	0
シャープペンシル	千本	26,175	1,120	30,939	1,276	-15.4	-12.2
万年筆・製図用ペン	千本	1,765	1,449	1,066	1,477	65.4	-1.9
セット品	千個	512	77	588	75	-12.8	2.3
黒芯鉛筆	Kg	636,014	1,033	647,607	1,030	-1.8	0.3
色芯鉛筆	Kg	1,386,705	1,611	1,527,914	2,060	-9.2	-21.8
修正液	千個	0	0	0	0	—	—
修正テープ	千個	50,091	1,887	54,801	2,046	-8.6	-7.8
計			19,045		19,324		-1.4

### 2018年上半期(1~6月) 出荷 速報

出荷	単位	2018年(1~6月)		2017年(1~6月)		前年変動率(%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	192,193	12,345	201,442	12,939	-4.6	-4.6
ボールペン(水性)	千本	638,972	27,608	677,758	29,093	-5.7	-5.1
マーキングペン	千本	453,231	21,419	469,367	21,363	-3.4	0.3
シャープペンシル	千本	81,219	9,784	79,977	9,925	1.6	-1.4
鉛筆	G	1,056,692	3,637	943,257	3,388	12.0	7.3